

次世代自動車センター活動レポート Vol.13

■ 次世代自動車センターフォーラム

昨年度の設立記念講演会に引き続き、今年度は「次世代自動車センターフォーラム」と題して経済産業省による基調講演をはじめ、当センターの活動報告、事業計画の発表。さらに、当センターに対する期待などについて、スズキ株式会社鈴木修会長等にご参加いただき、公開座談会を開催しました。また、会場内で、先行開発を行っている会員企業による「次世代自動車対応部品」の展示も行いました。

- 日 時：平成31年4月18日（木）
- 会 場：グランドホテル浜松
- 参加者：476名

【当日の次第】

第1部 開会

主催者挨拶

来賓挨拶

経済産業省 関東経済産業局長 角野 然生 氏

静岡県副知事 難波 喬司 氏

浜松市長 鈴木 康友 氏

浜松商工会議所 会頭 大須賀 正孝 氏



<フォーラム全体風景>

第2部 基調講演

題目：「次世代自動車の世界的な動向と経済産業省における支援策」

講師：経済産業省 製造産業局 自動車課長 河野 太志 氏

第3部 フォーラム

題目：「次世代自動車センターの活動報告及び今後の事業計画について」

講師：次世代自動車センター センター長 望月英二

公開座談会：「次世代自動車センターに期待すること」

司会 次世代自動車センター センター長 望月英二

参加者

スズキ株式会社 代表取締役会長 鈴木 修 氏

静岡県 経済産業部長 天野 朗彦 氏

静岡大学 理事・副学長 木村 雅和 氏



<公開座談会>

第4部 交流会
参加者 147名



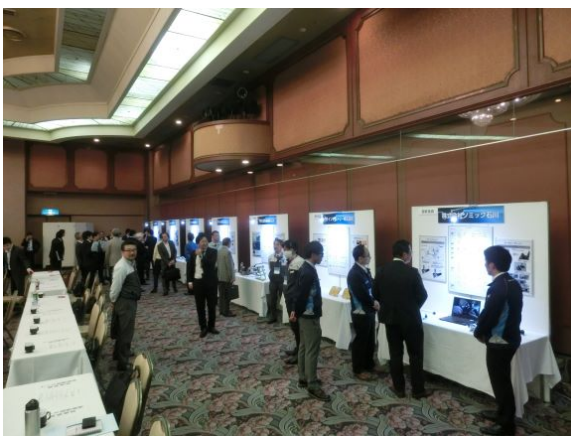
<交流会>

【基調講演のポイント】

- 日本の製造業における、自動車産業は、産業の中核。CASEの潮流を乗り越えなければならない。
- EV普及には、現状、様々な課題が存在。本格普及には電池性能の向上及び価格低下が必須。
- EV化により必要な部品が新領域にシフト、構造転換も必要になってくるが、当面はエンジンとバッテリーの二当流が勝負になる。
- 経済産業省では、昨年度より「自動車新時代戦略会議」を開催し、自動車政策の在り方について戦略的な議論を始めている。
- 平成31年度予算において、地域における技術開発、人材育成、販路開拓等の取組を支援するため「サプライヤー応援隊事業」を実施している。
- 他の施策として、全個体電池の開発、EV向け時期充電規格の日中共同開発、自動走行IT人材戦略、自動走行実証実験等を実施している。

【公開座談会のポイント】

- センター2年目としてスピード感を持ってやっている。中小企業に寄り添った施策が展開されており評価できる。
- スタンス的には、センターが主役であってはいけない。飽くまでも主役は中小企業である。ボトムアップが重要である。
- 固有技術を自動車業界のみでなく、さらにすそ野を広げ、ロボットなど他の業界に活かすことが発展につながる。
- 医工連携という観点からも企業の固有技術のニーズがあるのではないか。
- 個々が当事者意識をもって「モノ」「コト」につなげることが重要である。



<展示ブース>